

計画の目標の達成状況とその理由についての考察（令和6年度実績値）

資料6

計画指標	目標値		計画策定時	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	考察
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			(R1実績値)	(R2実績値)	(R3実績値)	(R4実績値)	(R5実績値)	(R6実績値)	
【指標1】 公共交通利用者数の増加	公共交通利用者数 (1日あたり)	4,000人	3,703.8人	2,896.3人	3,114.7人	3,342.6人	3,392.1人	3,462.3人	北陸新幹線開業等により、鉄道の利用者は増加した一方、コミュニティバス改編に伴い新設した路線バスについては、市民に浸透する間もなく大幅なダイヤ改正が行われ、利用者を減らした。 次期計画においても引き続き利用者の推移を拾い、バスルートや運行時刻について改善と、利便性の向上を図り、公共交通の利用促進につなげていく。
	JR・ハピラインふくい		2,137.0人	1,751.4人	1,875.2人	2,010.4人	2,003.8人	2,101.0人	
	えちぜん鉄道		1,208.2人	888.7人	985.6人	1,090.1人	1,122.4人	1,171.5人	
	コミュニティバス		358.6人	256.2人	253.9人	242.1人	117.1人	1.1人	
	路線バス(三国丸岡線・春江丸岡線)		-	-	-	-	77.9人	69.0人	
	オンデマンド型交通		-	-	-	-	70.9人	119.7人	
【指標2】 公共交通の運行に関する収支率の向上	コミュニティバス、オンデマンド型交通収支率	15.0%	8.2%	5.2%	5.7%	5.5%	7.8%	11.8%	オンデマンド型交通の利用者が増加し、運賃収入が増えた。
【指標3】 公共交通に関する行政負担額	公共交通への公的資金投入額	213,825千円	213,825千円	227,965千円	221,411千円	256,452千円	260,446千円	296,236千円	燃料費や人件費の高騰、路線の新設等により路線バスに対する公的支援額が増加した。
【指標4】 公共交通網の整備・充実に関する満足度の向上	満足と感じている割合	30.0%	21.5%	未測定	未測定	未測定	未測定	21.8%	えちぜん鉄道やオンデマンド型交通における満足度は高い一方、規模縮小及び減便したコミュニティバスや路線バスの満足度が低くなった。
【指標5】 公共交通に乗る機会の創出	公共交通に乗る機会開催数	6回	1回	0回	0回	2回	8回	6回	運転体験、イータク乗車体験など